

平成25年度第1回中央区自殺対策協議会 議事（要旨）

1 日時 平成25年7月17日（水） 午後7時～午後9時

2 場所 中央区保健所2階大会議室

3 出席者

【委員】

松本俊彦(委員長)、小川一夫(副委員長)、岩重佳治、石松伸一、池田真人、栗原正典、大辻正高、佐藤文則、石井真人、前田宥全、大田新吾、鈴木拓治、山上嘉人、草野延彦(代理)、阿部雅俊(代理)、松本勝裕、柳田慎二(代理)、島田勝敏、浅沼孝一郎、和田哲明

【事務局】

健康推進課長、予防係長、健康推進主査、他

(主な議題)

- 1 本年度の自殺対策について
 - 2 自殺未遂者調査について
-

[議事の経過]

1 本年度の自殺対策について

事務局より本年度の自殺対策についての説明があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

(事務局説明)

- 平成24年度の自殺者数は33名（内閣府、地域における自殺の基礎資料）で、国や都と比較するとやや自殺率が高い。
- 本年度も普及啓発、「気づき」のための人材育成、関係部署・団体とのネットワークの構築の3本の柱に沿って事業展開をしていく。また本年度は、区の課題を明らかにするために自殺未遂者調査を実施する。

(委員からの意見)

- 相談者が自分の抱える問題に応じて窓口を選択するのではなく、何でも相談窓口があって、そこが労働問題、精神的問題等も対応できたら相談しやすい。

2 自殺未遂者調査について

事務局より平成24年度に実施した自殺未遂者の事前調査^{*}の報告があり、その後意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。

※事前調査 本年度からの調査に備えて、平成24年度内に同一の区内救急基幹病院において、既存資料（診療録等）から区の未遂者の傾向を捉えた。

(事務局説明)

- 救急搬送された自殺未遂者の多くは、医薬品の過量服薬によるものが多かった。
- 本年度の調査では、自殺の原因・動機や職業等を聴取し、区のハイリスク者を見極めた上で、必要な対策を講じていきたいと考えている。

(委員からの意見)

- 自殺まで追いつめられる状況は、世代によって違うと思うので、世代に注目した対策を考えていくことが重要。
- 区役所やいろいろな窓口で、自殺対策に関して情報を共有できれば、悩んでいる人を前に適切な助言ができるのではないかな。

3 その他

平成25年度第2回中央区自殺対策協議会は、平成26年2月12日(水)19時より開催されることが決定した。